

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立六郷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・歌唱活動では、他者と歌声を交わしながら、表現活動を深めるための意見交流のできる生徒が増えてきた。
- ・鑑賞活動では、聴いた音楽の構成要素について、それらが音楽に与える影響や効果を言葉にして表現できる生徒が増えてきた。また、楽譜や画像や動画の効果的な活用で、知識や技能の習得率が高まった。

(2) 課題

- ・グループ活動を通して、生徒同士が音楽で表現し合い、その課題に気づき、改善していけるような活動を行っていく。
- ・各パートの役割を知覚感受し、各パートの役割に合った演奏を工夫する喜びを共有し、主体的に学習に取り組む態度の育成に努める。

2 過去の成果との比較・分析

- ・学習効果測定未実施教科

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音楽を形づくっている諸要素の役割を知る。	生徒が自己のイメージや思いを伝えあったり、他者の意見に共感したりできるようにするなど、コミュニケーションを図る指導を工夫する。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高める。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音楽を形づくっている諸要素を用いて、反復、変化、対照などの構成を知る。	音色・リズム・速度。旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成などの音楽を形づくっている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る活動を行う。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽譜の中から、音楽を形づくっている諸要素や構成を見付けることができる。	音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠を持って批判することができる活動を行う。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯に渡って音楽に親しんでいく態度を育てる。